

MS-20T, MS-20P

EKOの革新的な設計により、高精度かつ低価格を実現



概要

赤外放射計は、地表面や地球大気・雲などから放射される長波放射量（赤外放射量）を測定する測器です。気象学上では、 $0.3 \sim 0.4 \mu\text{m}$ ぐらいまでの波長の光を短波放射（日射）と呼び、それ以上を長波放射と呼んでいます。地球放射として観測される赤外放射の大半は波長 $4 \mu\text{m}$ 以上の長波領域にあります。

MS-20 は特殊コーティングされたシリコンレンズを備えており、日中においても長波放射のみを測定することができます。温度センサーとしてはサーミスタ素子または Pt100 Ω 素子を内蔵しており、センサ温度を測定することで下向き（上向き）放射量を精度良く測定することが可能です。

さらにオプションのヒーター付きファンユニットを装着することで、露、霜、堆雪を防ぐことが出来、ウインドウヒーティングオフセット（ドーム温度変化による誤差）を減じる効果も得られます。

概要



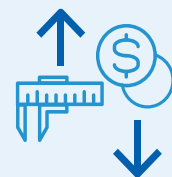
堅牢、かつ耐候性に優れ、屋外での連続測定が可能



卓越した低ウインドウヒーティングオフセット



保証期間は5年間、推奨する再校正期間は2年毎



高精度、低コスト。世界赤外放射基準群（WISG）にトレーサブル

	MS-20T	MS-20P
応答時間 (95%応答)	< 18 秒	
ウインドウ ヒーティング オフセット	< 6 W/m ²	
ゼロオフセットB	< 5 W/m ²	
温度特性	< 4 % (-10 to +40°C)	
動作温度範囲	-40 ~ +80°C	
測定波長範囲	4.5 ~ 42μm	
内部抵抗	Approx. 50 ~ 100Ω	
感度定数	10 to 25μV/ W/m ²	
視野角	150°	
受感部温度素子	サーミスタ 10kΩ	Pt-100 Class A
保護等級 (IPコード)	IP67 Equivalent (IEC60529)相当	
出力ケーブル (外径)	AWG20: 0.5mm ² x 4ピン (Φ6.7mm)	AWG20: 0.5mm ² x 5ピン (Φ6.7mm)
出力端子棒	棒端子 (0.3 to 9.5)	
出力 (信号)	電圧 (mV)	
質量	0.35 kg	

アプリケーション

MS-20 は、下向き（上向き）長波放射量を高精度で測定します。一般気象、農業気象、建築分野等で広く使用できるように低コストで高品質のソリューションとして設計されています。

関連製品

MS-21 赤外放射計

MS-21 は MS-20 の上位機種です。シリコンレンズをメニスカス形状にすることで、視野角 180°を確保しつつ、ウインドウヒーティングオフセットを低く抑えています。気候変動の監視やメカニズムの解明など、赤外放射量の精密な測定が必要な場合に有効です。

QR

QR コードを使って、EKO ホームページにアクセスすることができます。また、お問い合わせいただくことも可能です。さらに詳しい製品情報や、関連製品、そのほかイベント情報などもご覧いただけます。



オプション



MV-01 ヒーター付ファンユニット

MV-01 は、英弘精機製の全天日射計や赤外放射計と組み合わせることで、霜・露・積雪を防ぎ、あわせてセンサーの汚れを軽減するための追加オプションです。MV-01 は、低消費電力ファンと高効率ヒーターを搭載し、独立してオン/オフ設定が可能です。また、ファンの回転数をモニターすることで、ベンチレーターをオーバーヒートから保護する機能も備えています。したがって厳しい気象環境下でも、信頼性の高い無人観測が可能となります。

英弘精機株式会社

環境機器事業部
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-21-8
TEL 03-3469-6711
FAX 03-3469-6719

関西営業所
〒532-0012 大阪市淀川区木川東 3-1-31
TEL 06-6307-3830
FAX 06-6307-3860

eko.co.jp